

電気主任技術者免状の取得について

とくに将来、取得を目指している方へ

詳細については、次のURLを必ず確認すること。

参考URL : <http://www.shiken.or.jp> 一般財団法人電気技術者試験センター

●免状の種類

- 第三種電気主任技術者 実務経験 (電圧 5 百ボルト以上、1 年以上の工事、維持、運用)
- 第二種電気主任技術者 実務経験 (電圧 1 万ボルト以上、3 年以上の工事、維持、運用)
- 第一種電気主任技術者 実務経験 (電圧 5 万ボルト以上、5 年以上の工事、維持、運用)

●免状取得方法 (第三種の場合)

- 1 . 主任技術者試験に合格する方法
- 2 . 認定校を所定の単位を修得して卒業し、所定の実務経験を得て申請する方法
第二種の場合は技能試験に合格する必要がある。
第一種の場合は技能試験に合格し、実務経験を得る必要がある。

●近畿大学工学部電気電子工学科の場合

近畿大学は認定校であり、工学部電気電子工学科で開講されている別紙 (平成23年度シラバス〔111〕) 記載の科目を修得すれば、上記第2項に基づいて申請することが可能である。

所定の単位を修得できていない方は、その不足単位の授業内容が含まれる試験科目に合格し、実務経験等の資格要件を満たせば、免状交付の申請が可能である。ただし、この単位修得とみなせる試験科目は、「理論」を除く「電力」「機械」「法規」の3科目の内「法規」を含む2科目まで、「電力と法規」または「機械と法規」の2科目か、「電力」「機械」「法規」のいずれか1科目に限られる。

したがって、卒業生は少なくとも「理論」の科目を修得しておく必要がある。具体的には次に示す科目を全て修得していなければならない。()内は本学科の科目の種類と単位数。

実験科目以外の6科目の内、修得していない科目があれば、近畿大学工学部の科目履修制度 (有料) を利用して受講することができる。

- 電気回路I (選択必修科目2単位)、電気回路II (選択必修科目2単位)
- 電気回路総合演習 (選択科目1単位)
- 電磁気学I (選択必修科目2単位)、電磁気学II (選択必修科目2単位)
- 電気計測 (選択科目2単位)
- 電気電子工学実験I (必修科目2単位)、電気電子工学実験II (必修科目2単位)
- 総合エレクトロニクス実験 (必修科目3単位)

電気主任技術者免状に係る学校等の認定基準への適合状況に関する立入調査 指摘事項に対する改善計画

平成25年2月20日 (水) 午後1 : 30 ~ 5 : 00、本学にて、経済産業省 中部近畿産業保安監督部 近畿支部 電力安全課の立入調査を受けた。その結果、「総合エレクトロニクス実験」の内容が届出内容と異なっている (省令第1条の2)、との指摘を受け、改善するよう指導された。

そこで、改善策として、平成24年度卒業生に対し、次に示す対応を行うことにした。
皆様にはたいへんな御迷惑をお掛けすることになったが、御理解の上、御承諾頂きたい。

「総合エレクトロニクス実験」の集中実験を下記のように行う。受講して修了した場合は、理工学部事務部が発行する修了証明書を実験最終日にお渡しする。この処置により、申請すれば、電気主任技術者免状取得に係る単位修得証明書を受領できる。

記

集中実験期日：平成25年8月7日（水）～10日（土）の4日間
実施場所と時間は受講申込後に連絡する。

実験内容：

第1回 交流電動機実験

インバーターを使って交流電動機を運転し、その特性について実験検討する。

第2回 シーケンス制御実験

シーケンス制御の基礎を学び、シーケンス回路を設計して、電動機のON - OFF動作および正転・反転の制御実験を行う。

第3回 高電圧放電実験

放電を発生させ、インパルス電圧、電流の測定実験を行う。測定データから印加電圧・電流や電極と絶縁破壊の関係について考察する。

第4回 総括およびレポート作成・評価

受講申込方法：氏名、学年、コース名、学籍番号、連絡先住所・電話番号・電子メールアドレスを明記の上、電子メールあるいは郵送で申し込む。

受講申込期限：平成25年5月31日（金）

受講申込先：近畿大学理工学部事務部 寺地竜太
〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
電子メール：teraji@itp.kindai.ac.jp

以上